

Navi

①

国立大学の工学系教員 — キャリアと業務 —

②

数字で未来をつくるプロフェッショナル

— 公認会計士の仕事 —

Vol.

192

2025.7

① 国立大学の工学系教員

— キャリアと業務 —

清教学園保護者(国立大学工学系教員)

3つの旧帝大の工学系学部に、学生(学士・修士・博士)として、任期付き研究員(いわゆるポスドク)として、助教として、合計15年、地方国立大の工学系に、准教授として11年と教授として6年、過ごした経験を基に、国立大学の工学系教員の一般的なキャリアと業務を紹介します(文系や私立大の場合は当てはまりません)。みなさんが持っているイメージと少し違うかもしれませんが、この職種を正しく知ってもらったうえで皆さんに興味を持ってもらい、大学教員になって日本の学術研究の今以上の発展に貢献して頂ければ、と願っています。

まず、工学系の大学教員は、一般的に、学部の4年間、大学院(修士・博士)の5年間(以上)を経て、任期付き研究員として研究修行をして、30歳ぐらいで助教、40歳ぐらいで准教授、50歳ぐらいで教授、というキャリアを持っています(持つことになります)。適性レベル以上の研究実績や教育・社会への貢献があれば、もう少し早く昇任しますし、実績や貢献が少なければ昇任が遅くなるだけでなく、教授や准教授に昇任できずに65歳で定年を迎えることもあり得ます。近年、エスカレーター式に昇任することはほとんどなく、厳しい審査や選考があります。特に教授への昇任においては、教授になりたくて応募してくる他大学の准教授や大企業で実績を残した部長クラスの人達に対して選考で勝ち抜くために、優れた研究実績と今後の社会への貢献が大いに期待される将来計画が必要です。またそもそも、大学教員になること自体、簡単な訳ではありません。博士課程在学中に優れた研究実績を残さないと、助教の採用選考で勝ち抜くことはできませんし、第一に、助教定員に空きが無いと、募集さえありません(これは准教授や教授への昇任もそうです)。一般的に、学科単位で、助教・准教授・教授の定員があり(学科の規模に因りますが各職位で5~10名など)、埋まっていれば新規募集はありません。なお、各大学教員の専門性は、極めて狭く深いので、助教として採用されるにしても、他大学に昇任する形で移るにしても、自分の専門性と相手が求めている専門性とが合致していることが前提で、自分の専門分野で募集が出ることは、正直、日本全国の大学を見渡しても、1年に1回有るか無いかの稀な機会と言えます。博士課程を修了したタイミングで、自分の専門分野に合致する助教の募集が無ければ、任期付き研究員をしながらどこかの大学に空きが出るのを(実績を積みながら)待つか、学んできたことを活かせる分野の企業に就職するか、となります。

さて次に、大学教員の業務です。まず真っ先に皆さんが思い付くのは、「専門科目の講義」だと思います。ですが、国立大学の工学系教員の場合、担当する講義は、1週間あたり90分講義が2~3コマです。講義にプラスして、学部生のカリキュラムに含まれる「学生実験」や「演習」の担当なども少しあります。では、

- ①「専門科目の講義」、以外にどのような業務が有るかという、
 - ②「研究(実験試料の作製と特性評価・実験機器の維持管理やメンテナンス・学会発表・学術論文執筆・他の研究者が書いた学術論文の審査(査読)・企業との共同開発・研究費獲得のための申請書類の作成、など)」、
 - ③「教育(講義以外の、4回生の卒業課題研究や大学院生の修士や博士課題研究の指導・学生の学会発表や論文執筆の指導・大学院生が研究開発に関わるPDCA(Plan-Do-Check-Action)を習得するための日々の活動の指導、など)」、
 - ④「管理運営(教育や研究に関わるイベントや行事の企画立案実施・講義カリキュラムの見直し・社会の最新動向に合致させるための学部学科の再編成・学内共通の実験装置や研究施設の整備、など)」、
 - ⑤「入試(前期日程・後期日程・総合型選抜・学校推薦型選抜・私費外国人留学生・(高専などから3回生への)編入学・大学院の修士および博士(それぞれ年2~3回)、の各入学試験の問題作成や採点や合否判定)」、
 - ⑥「社会貢献(学会や研究会の開催運営・学術雑誌の編集・高校への出前講義・一般市民対象の公開講座、など)」、
 - ⑦「国際化(外国の大学との教育研究協定の締結・国際共同研究・研究留学生の獲得・日本人学生の留学機会の提供)」、
- などがあります。職位によってこれらのウエートが異なり、一般的に、教授の業務は④⑤⑥⑦>②>③>①、准教授の業務は②>③⑥>①④⑤>⑦、助教の業務は②>③>①>④⑤⑥⑦、です。旧帝大の場合は③のウエートが低いと思います、少々放っておいても学生は自ら成長して行きますので。また旧帝大の教授の場合、②、④、⑥、⑦のいずれかに秀でていて、それに特化している人も居ます。ということで、実は正直、①「専門科目の講義」は、業務のほんの一部なのです。ちなみに私自身は、研究(②)を続けたくて博士課程に進学し、そのまま大学に残ったのですが、今は、③④⑤⑥⑦にもやりがいを感じています。

ついでに、そのやりがいについてお話しておきます。自分の研究が有名な学術雑誌に掲載された、共同研究企業が喜ぶ研究成果を報告できた、指導した学生が進路先で活躍していることを聞いた、企画した教育研究イベントで参加者から高評価を頂いた、装置や施設の整備により多くの教員の研究が進捗した、運営した学術講演会で多くの研究者が有意義な時間を過ごせたと感謝してくれた、出前講義などを聞いた高校生がアンケートで「研究開発者になりたい」と書いてくれた、外国の研究者と知り合いになった、学生の国際感覚の養成の手助けができた、などが有れば、大変だったけど頑張ったと感じます。なお、これらの副産物として、そこそこの給料をもらえる、というのが、我々の感覚です。

大学教員は、学生に自分の専門分野を教えて終わり、ではなく、研究開発者の育成・科学技術の発展・地域のみならず国際社会の発展、などに幅広く貢献できる、多方面に対して自分の存在意義を実感できる職業です。

② 数字で未来をつくるプロフェッショナル

— 公認会計士の仕事 —

清教学園保護者(公認会計士)

みなさんは「公認会計士」という職業を聞いたことがありますか？

「なんだか難しそう」「税金の人？」と思うかもしれませんが、でも実は、公認会計士は、企業や社会の“信頼”を支える、カッコいい仕事なんです。

私は今、一般企業（いわゆる“事業会社”）で公認会計士として働いています。ここでは、そんな私の視点から、公認会計士の仕事や魅力をわかりやすく紹介します！

■公認会計士の役割って？

公認会計士は、「会計」と「監査」のプロフェッショナルです。

会計：会社のお金の流れ（売上・費用・利益など）を記録・分析すること

監査：会社が作った「決算書」が正しいかどうかをチェックすること

会社は、投資家や銀行、取引先に「うちの経営はこんな感じです」と報告する必要があります。そのときに使うのが「決算書」。これは、会社の“通知表”のようなものです。

でも、もしこの通知表がウソだったら…？誰もその会社を信用できませんよね。

そこで登場するのが公認会計士。第三者の立場から会社の数字をチェックし、社会に“信頼”を届けるのが私たちの仕事です。まさに、経済社会の“縁の下の力持ち”です！

■一般企業で働く公認会計士の仕事

「会計士って会計事務所で働くんでしょ？」と思うかもしれませんが、私は今、一般企業で働いています。そこで、こんな仕事をしています：

会社の決算をまとめる
新しいビジネスが儲かるか分析する
海外のグループ会社の会計をサポートする
社長に数字をもとにアドバイスする

つまり、「数字のプロ」として会社の経営を支える役割です。

ただ数字を扱うだけでなく、会社の未来と一緒に考える、とてもやりがいのある仕事です！

■公認会計士の魅力って？

〈一生使える専門スキル〉

会計や財務の知識は、どんな業界でも必要とされ

ます。資格を取れば、会計事務所・企業・コンサル・起業など、幅広いキャリアが選べます。まさに「手に職」！

〈社会的信頼が高い〉

国家資格なので、社会からの信頼もバツグン。責任は大きいけれど、その分やりがいも大きい。「信頼される仕事をしたい」人にぴったりです。

〈グローバルに活躍できる〉

会計のルールは世界共通の部分も多く、英語力があれば海外でも活躍可能！

実際、私の仕事でも海外とのやりとりは日常茶飯事です。

■会計士になるには？

STEP 1

中高生の今できること

- ・数学や国語（論理的思考力）をしっかりと学ぶ
- ・経済やビジネスに興味を持つ
- ・会計士の仕事を調べてみる（YouTubeや本もおすすめ！）

STEP 2

大学 or 専門学校へ進学

- ・会計士試験の勉強ができる大学（商学部・経済学部など）に進学
- ・大学在学中に合格を目指す人もたくさんいます！

STEP 3

公認会計士試験に合格！

- ・「短答式試験」と「論文式試験」の2段階
- ・合格にはかなりの時間の勉強が必要。でも、努力が報われる資格です！

STEP 4

実務経験＋修了考査

- ・合格後は会計事務所などで2年以上の実務経験
- ・最後に「修了考査」に合格すれば、晴れて公認会計士に登録！

■中高生のみなさんへ

「数字が好き」「論理的に考えるのが得意」「社会に役立つ仕事をしたい」そんなあなたに、公認会計士という道はとても向いています。

もちろん、資格取得には努力が必要です。でも、その努力は将来の大きな力になります。

まだ夢が決まっていない人も、「公認会計士」という選択肢を、ぜひ頭の片隅に置いてみてください。

数字で社会を支える。未来をつくる。

そんな仕事が、ここにあります。

職業を調べよう!



仕事を選びに迷ったらまずはこのサイトを見てみよう。

職業情報提供サイト（日本版O-NET）（愛称：job tag（じょぶたぐ））

<https://shigoto.mhlw.go.jp/User>



職業情報提供サイト（日本版O-NET）（愛称：job tag（じょぶたぐ））は、「ジョブ」（職業、仕事）、「タスク」（仕事の内容を細かく分解したもの、作業）、「スキル」（仕事をするのに必要な技術・技能）等の観点から職業情報を「見える化」し、求職者等の就職活動や企業の採用活動等を支援するWebサイトです。

まだ就業経験のない方や再就職先を探している方が、どんな職業があるのかいろいろな切り口から探したり、その職業ではどんな仕事内容・作業が一般的に行われ、どんなスキルや知識を持った方が働いているのか調べたりすることができます。

皆様のご職業・仕事内容を紹介して下さい!!!

ご執筆いただける方がいらっしゃいましたら、以下にご一報ください。

お問合せ

〒586-8585

河内長野市末広町623 清教学園中高等学校内グリーンルーム（PTA室）

TEL・FAX 0721-62-4406

✉ pta@seikyo.ed.jp



清教生徒のきみたちへ

ーさまざまな職業との出会いをー

発行：清教学園PTA